

# Economic Monitor

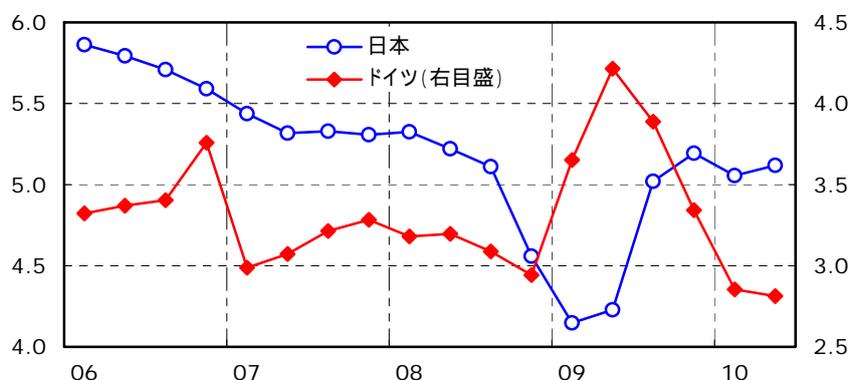
## ドイツで占うエコカー補助金終了後の新車販売

エコカー補助金の終了が迫ってきた。エコカー補助金終了後の新車販売動向を占う上では、昨年で購入支援措置が終了したドイツが参考になるだろう。ドイツの新車購入支援制度は予算枠 15 億ユーロで 2009 年 1 月～9 月の時限措置として導入された。3 月までに予算枠の半分を消化したため、予算枠を 200 万台分の 50 億ユーロに増額したが、その予算枠も 9 月 2 日までに消化し、期限を若干前倒して終了した。ドイツの乗用車登録台数は新車購入支援制度により、2008 年の 309 万台から 2009 年は 381 万台に増加した。なお、新車購入支援制度の申請は 9 月 2 日で打ち切られたが、納車（登録）は 12 月末迄に行えば良いため、登録台数は 10 月以降も高水準が続いた。

ドイツの新車購入支援制度の終了が乗用車登録台数に及ぼしたインパクトを測るために、制度実施中の 2009 年 7～9 月期と、支援制度が終了した後の 2010 年 1～3 月期を比べると▲26.6%、年率換算では▲71.0%もの落ち込みとなっている。制度の詳細が異なるため、単純にドイツと日本を比較することはできないが、日本のエコカー補助金申請対象期間が 2009 年 4 月 10 日～2010 年 9 月 30 日（18 ヶ月）とドイツよりも長いことを踏まえると、反動減はドイツに匹敵するものとなる可能性がある。なお、当社は、エコカー補助金終了後の 2010 年 10～12 月期の新車販売台数がドイツと同程度の落ち込みを示し、382 万台（当社季節調整値、年率換算）まで減少すると想定している（日本の 2010 年 4～6 月期実績は 512 万台）。

加えて、注目されるのはドイツの乗用車登録台数が 2010 年 4～6 月期も持ち直しの動きを見せていないことである。1～3 月期の登録台数年率 285 万台に対し、4～6 月期は 281 万台と小幅ながら減少が続いた。日本自動車工業会は 2010 年度の新車販売台数を 465 万台と予想している。2010 年 10～12 月期の販売台数が当社想定通り 382 万台まで落ち込むとすると（7～9 月期には一定の駆け込み需要を想定）、工業会予想が達成されるためには、2011 年 1～3 月期に 450 万程度への急激なリバウンドが必要である。しかし、ドイツの販売動向を見る限り、2011 年 1～3 月期に急激なリバウンドを期待するのは難しそうである。

### 新車販売台数(百万台、季節調整済、年率)



(出所)自販連、全軽自協、ACEA